

わんちゃんの尿石症とは

尿中の余剰ミネラルが結晶化し、それを中心にさらにミネラルが沈着することで段々に大きな石を形成していきます。場合によっては命に関わる恐ろしい疾患です。

《主な原因》

- 食事中のミネラルバランスの不均衡
- 飲水量の減少による尿の濃縮
- 細菌性膀胱炎(炎症で剥がれた膀胱粘膜を核として石を形成)
- 遺伝的素因(尿石症になりやすい犬種や体質)
- 食事の給与方法(1日1回の食事は原因になりやすい)

《症状》

石が膀胱粘膜を傷つけることで血尿や頻尿を引き起こします。男の子では小さい石が尿道を通過しきれず、**尿道閉塞を起こすと急激に状態が悪くなり、命に関わる場合があります。**女の子では男の子に比べて細菌性膀胱炎を起こしやすく、尿石症になることが多いですが尿道が太いため閉塞を起こすことは非常に稀です。

手術で膀胱から摘出した尿石↓



同じ種類の尿石でも、形状や形成のされ方は多様です。

《治療》

■ 細菌感染に対する治療

細菌性膀胱炎では尿がアルカリ性に傾いてストラバイト尿石が出来やすい環境になります。抗菌剤で治療します。

■ 外科手術

シュウ酸カルシウムのような食事によって溶解が見込めない尿石の場合は手術によって石を摘出します。しかし砂利様の尿石が無数に存在する場合はすべてを摘出することは非常に難しくなっています。

■ 食事療法

ストラバイト(リン酸アンモニウムマグネシウム)尿石の場合は食事療法で溶解が見込めます。溶解しない尿石であっても、新しく形成されにくいように食事療法を行います。

尿石の種類や本人の体質・年齢などによって適切なフードを選択し、定期的に尿検査や画像検査を受けて都度フードを検討する必要があります。

■ 水分摂取の促進

水分摂取が不十分だと尿が濃くなり、ミネラルの密度が増すことで尿石が出来やすくなります。飲み水においしい風味を付けたり、水飲み場を増やすなどの工夫で水分摂取量を増やし、尿を希釈することで尿石を出来にくくします。

■ ミネラルバランス

食事療法をしていても、余分なミネラルを摂取していると尿石症の原因になります。

おやつ、サプリメントなどに注意するほか、野菜にはミネラルやシュウ酸が含有されていますので注意しましょう。